

中学年で身につけたい家庭学習の習慣 2020舞鶴小

学習時間のめやす

50分程度

中学年になると

■自立心が芽生えてくるとともに、自分でやろうとすることが多くなり、「やる気」や「根気」が育つ時期です。語い（言葉）も増え、抽象的な思考ができるようになります。

「急に勉強が難しくなった」という戸惑いや、苦手意識をもつ子どもも出てきます。自信をもたせたり、意欲をふくらませたりするような励ましが大切です。

学習の特徴

- 社会、理科の学習や総合的な学習の時間が始まり、学習する内容も広がります。
- 国語辞典や漢字辞典、地図帳等の使い方を学び、自分で調べる学習をすることが多くなり、自学自習の基礎を学びます。
- 算数では、四則計算（＋、－、×、÷）の基礎・基本を徹底して学ぶとともに、分数や小数など少しずつ抽象的な内容も学ぶようになります。
- 外国語活動が始まり、外国語（主に英語）に慣れ親しみます。

家庭での援助

- 宿題や持ち物の準備を自分でさせ、後で一緒に確認しましょう。
- 学習の前に、机の整理整頓を行い、集中して取り組む習慣をつけさせることが大切です。
- 自分から机に向かう姿勢を育て、宿題が終わったら、必ず丸付けをし、間違えたところはやり直しをさせましょう。
- 社会や理科で勉強する地域社会の文化や産業、自然などにふれる体験をさせましょう。
- スマホ等の電子・通信機器は家族の共有場所に設置し、情報モラルに心がけさせましょう。

家庭では
こんな学習を

国語 (音読)

- ・毎日音読する習慣を身につけましょう。
- ・文章を正確に読むことができるようにしましょう。

(文字・漢字)

- ・正しい書き順で正確に文字が書けるようにしましょう。
- ・とめ、はね、はらいに気をつけて、丁寧に繰り返し練習しましょう。

(言葉)

- ・国語辞典や漢字辞典を手元に置き、使い方になれるようにしましょう。

(読書)

- ・進んで読書をしましょう。

算数

- ・かけ算やわり算など正しい計算手順が身につくよう、練習しましょう。
- ・三角定規や分度器、コンパスなどが正確に操作できるように繰り返し練習しましょう。

社会

- ・地図記号や方位を覚え、都道府県名を調べ覚えましょう。

理科

- ・自然に触れる機会を持ったり、新聞やテレビのニュースを話題にしたりしましょう。

その他

- ・学校で学習した内容を振り返り、興味を持ったことに進んで取り組みましょう。

たとえば

- ・作文 ・計算練習 ・百人一首を覚えたり調べたりする。
- ・本や図鑑やインターネットで調べたことをまとめる。 ・ローマ字

